

【背景】

- ◆ 脱炭素・循環型社会への転換を先導する「グリーンイノベーション下水道」を目指し、今後、下水道が有するポテンシャルの最大活用、温室効果ガスの積極的な削減、地域との連携といった更なる取組を図ることが期待されている。
- ◆ 下水道の省エネ化にあたっては、都市と地方では処理場の規模や処理方式等が異なるため、効果的な温室効果ガス排出削減に向け、省エネ診断に基づく有効な技術選定とともに、地域特性や広域的連携も考慮しつつ、処理規模・方式に応じた取組を進めていくことが必要。

【事業概要】

下水処理場の省エネ化を検討する地方公共団体にアドバイザーを派遣し、省エネ診断を実施するとともに、対策検討支援を実施。

【本業務での検討内容】

下水処理場におけるエネルギー消費分析、省エネルギー対策の実施支援を行うことで、下水道分野における脱炭素化を促進させる。

①対象処理場の現況調査

- ・現況の運転状況、エネルギー使用状況を調査

②省エネ手法の検討

- ・運転管理手法の改善検討
- ・省エネ設備の導入検討

③省エネ化対策の検討

- ・省エネ技術の導入可能性検討
- ・導入による省エネ効果の定量評価